

新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合に 気をつけること

1 新型コロナウイルス感染症の疑いがある方の過ごし方

2020年2月26日

新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は下記の事項に注意しましょう。

○ 症状の出現に注意しましょう

- 新型コロナウイルス感染症の患者さんと最後に接触した日から14日間は、朝・夕2回の体温測定をおこなう等の健康観察を実施しましょう。次の症状がある場合には、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日間以上続いている。
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含む)
 - 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある
- ※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

○ 咳やくしゃみが出たら咳エチケットを必ず行いましょう

- 14日間経過するまでは症状がなくてもマスクを着用しましょう。
- 咳やくしゃみをする場合には口と鼻をティッシュや手で覆いましょう。その後、流水と石鹸で手を洗いましょう。

2 家庭や施設内で新型コロナウイルス感染症の疑いがある方へのケア

○ 家庭や施設内における感染経路

新型コロナウイルス感染症は発症すると、咳や痰、鼻水等の症状が現れ、咳やくしゃみのしぶき(飛沫)にウイルスが含まれている場合、飛沫を吸い込むことによって感染します。

また、咳をする際に口元を抑えた手や痰、鼻水に触れた手でドアノブや電気のスイッチに触れ、そこに別の人が触れた手で目や鼻を触ることで家族や施設内の方に接触感染します。

○ 施設や家庭内での過ごし方

新型コロナウイルス感染症の疑いがある方が家庭や施設内で生活をしている場合、疑いのある方を家族や施設利用者から別室に隔離(可能であれば)した上で、室内をよく換気し、清掃と消毒を徹底することで家族や施設内における感染を防ぐことができます。詳しくは「新型コロナウイルス感染症に関する清掃・消毒について」をご覧ください。

○ ケアする際の注意事項

疑いがある方をケアする場合は、部屋に入る時にマスクを着用し、こまめに手洗いとエタノールで手指消毒を行いましょう。タオルは使い捨ての紙タオル等が望ましく、マスク装着後はマスクの表面に触れないようにしましょう。また、一度使用したマスクは再度着用しないようにしましょう。鼻水や痰が付着したティッシュや使用したマスクはビニール袋に入れ、しっかり口を絞って捨てましょう。

出典：(WHO、Home care for patients with suspected novel coronavirus (nCoV) infection presenting with mild symptoms and management of contacts より)